

ボリューム ライセンス ガイド

Rental Rights



Rental Rights ボリューム ライセンス ガイド

目次

Rental Rights の概要	1
Rental Rights とは?	1
対象ソフトウェア	2
対象ボリューム ライセンス プログラム	2
Rental Rights をお薦めする理由	3
Rental Rights の購入方法	4
Rental Rights が必要なビジネス/サービス	5
制限事項	5
参照	6
用語集	7

Rental Rights の概要

Windows デスクトップ オペレーティング システムおよび Microsoft Office ライセンスでは、これらのソフトウェアが搭載された PC を第三者にレンタルまたはリースすることは、有償か無償かに関係なく、原則として認められていません。結果として、レンタル、リースあるいは貸与ビジネスを営む多くの組織にとってライセンス コンプライアンスの確保が大きな課題となっています。この問題を解決するために、マイクロソフトでは、お客様にとってのコンプライアンス確保がよりシンプルになるよう、必要な権利を取得していただくための新しいライセンス手段として Rental Rights を導入しました。Windows デスクトップ オペレーティング システムおよび Microsoft Office の対象となる OEM バージョンについては、一定のファイナンス リースおよび長期リースの場合は Rental Rights は不要であり、これらのリースは Web でのリース許諾（「[リース PC にインストールされたマイクロソフト オペレーティング システム製品のリース許諾条件について](#)」、「[リース PC にインストールされたマイクロソフト オフィス製品のリース許諾条件について](#)」）に基づいて許可されます。

近年では、インターネット カフェでの短時間レンタルやホテルあるいは空港ロビーに設置された PC の無償または有償使用から、組織規模での複数年契約に至るまで、さまざまな形態の PC レンタル・リース ビジネスが展開されています。

マイクロソフトの Rental Rights は、正規の Windows オペレーティング システムや Microsoft Office ソフトウェアが搭載された PC を第三者に対してレンタル、リースまたは貸与される組織のお客様にとって、よりシンプルなライセンス ソリューションを実現することができるライセンスです。

Rental Rights とは？

Rental Rights とは、PC のレンタル、リースまたは貸与ビジネスを運営する組織のお客様を対象に、正規にライセンスされた Windows オペレーティング システムや Microsoft Office 製品が搭載された PC をレンタルまたはリースする権利を許諾するライセンスです。対象となる組織には、インターネット カフェ、ホテルや空港内の設置 PC、ビジネス サービス センター（コピー・製本/印刷店など）、オフィス機器のリース会社などが含まれます。

上記のようなレンタル・リース ビジネスを運営されているお客様に、Rental Rights は、マイクロソフト ボリューム ライセンスにおけるコンプライアンスの確保ができ、一度の購入で手続きが完結するシンプルなソリューションを提供いたします。Rental Rights は、基となる Windows オペレーティング システムや Microsoft Office 製品の使用許諾ライセンス（フル ライセンス）に代わるものではなく、それらのソフトウェア ライセンスの使用許諾内容を上書きする追加ライセンスです。また、Rental Rights は Windows オペレーティング システムや Microsoft Office 製品のライセンス購入時と同時、または既に購入済みの Windows オペレーティング システムや Microsoft Office 製品のソフトウェア ライセンスに追加する形でご購入いただき、必ずデバイスごとに割り当てられなければいけません（価格はおお客様のボリューム ライセンスの契約内容によります）。

Rental Rights が割り当てられた PC は、お客様（Rental Rights の購入者）によって任意の期間、第三者に対してレンタルまたはリースすることができ、この PC のユーザー（お客様のビジネスにおける顧客）は、正規のライセンスが付与された Windows オペレーティング システムや Microsoft Office 搭載の PC を利用することができます。

Rental Rights ボリューム ライセンス ガイド

Rental Rights はこれらのソフトウェアのレンタル・リース利用を可能にするために、Windows オペレーティングシステムや Microsoft Office 製品の使用許諾内容を上書きする追加ライセンスです。これらの製品のレンタル・リースはライセンスの標準契約条項により通常禁止されています。

Rental Rights for Windows が割り当てられたデバイスは、商用以外の目的で個人にのみレンタルすることができます

対象ソフトウェア

Windows オペレーティング システムがプレインストールされた新規 PC として OEM から、マイクロソフト ボリューム ライセンスを通じてアップグレードとして、またはパッケージ製品（通称 FPP）として購入されたマイクロソフトソフトウェアが、Rental Rights の対象となります（下記参照）。

Rental Rights for Windows	Rental Rights for Microsoft Office Professional Plus
Windows (コンシューマー向け) <ul style="list-style-type: none">▶ Windows 10 Home*▶ Windows 8 /8.1 /0*▶ Windows 7 Home Premium* Windows Pro: <ul style="list-style-type: none">▶ Windows 10 Pro▶ Windows 8 / 8.1▶ Windows 7 professional▶ Windows Vista Business	Office Standard: <ul style="list-style-type: none">▶ Microsoft Office Standard 2010 / 2013 / 2016 Office Professional: <ul style="list-style-type: none">▶ Microsoft Office Professional Plus 2010 / 2013 / 2016▶ Office Personal 2013 / 2016 プレインストール版のみ)▶ Office Home & Business 2013 / 2016 (プレインストール版のみ)▶ Office Professional 2013 / 2016 (プレインストール版のみ)

* Rental Rights for Windows が割り当てられたデバイスは、商用以外の目的で個人にのみレンタルすることができます。

対象ボリューム ライセンス プログラム

Rental Rights は、下記のボリューム ライセンス プログラムを通じて購入できます。

- ▶ オープン ライセンス (Open License)
- ▶ セレクト プラス ライセンス (Select Plus License)
- ▶ マイクロソフト製品/サービス契約 (MPSA)

注 1) 上記ボリュームライセンス契約を通じて、対象ソフトウェアをライセンスした場合、または、お持ちの上記対象ソフトウェアにダウングレード権が付与されていれば、旧バージョンの使用が可能です。

注 2) 対象ソフトウェアは予告なく変更することがあります。最新情報は[製品条項](#)でご確認ください。

Rental Rights ボリューム ライセンス ガイド

Rental Rights をお勧めする理由

Rental Rights の導入は、ライセンス コンプライアンスの確保を容易にします。

▶ ビジネスにつきもののライセンス管理が面倒いらずです

お客様のビジネス モデルに特化した Rental Rights をご購入いただくと、Windows オペレーティング システム や Microsoft Office 搭載の PC を第三者にレンタル、リースまたは貸与する権利が得られ、ライセンス コンプライアンスに関する懸念なく、お客様のビジネスにおける顧客（すなわち Rental Rights における「エンドユーザー」）にマイクロソフト ソフトウェアを利用していただくことができます。

導入に要するコストは、購入時 1 回限りのお支払いだけです。予算組みが簡単なうえ、経常キャッシュ フローや経常収益が低い現代ならではのビジネス モデルをサポートしています。Rental Rights は割り当てたデバイスが起動する限り有効な永続ライセンスですので、煩雑なライセンス管理が不要となり、安心してご自身のビジネスを運営いただけます。

▶ 一度きりのお支払いで PC の稼働期間中は継続的に有効です

Rental Rights の発注方法は他のマイクロソフト ライセンスを注文いただく方法と同じです。お近くのマイクロソフト販売店よりご注文いただくか、ライセンシング ソリューション パートナー（通称 LSP 旧ラージ アカウント リセラー (LAR)）より、オープン、セレクト プラスまたは、MPSAのいずれかのボリューム ライセンス プログラムを通じて Rental Rights をご購入いただけます。ご購入代金をお支払いいただいた後は、割り当てられた PC が稼働する限り有効となり、追加費用や追加事務処理は一切不要です。

組織が、正規のマイクロソフト ソフトウェアを所有しているという確証、およびライセンスがソフトウェアの使用許諾内であるという保証によって、組織をコンプライアンスからの逸脱行為からの保護し、情報の安全性への脅威から保護します。

▶ 正真正銘のマイクロソフト正規ソフトウェアです

正しくライセンスされた正規のマイクロソフト ソフトウェアは、お客様だけでなく、エンドユーザーに対してもライセンス コンプライアンスの確保をお約束します。ケースによっては、お手持ちのソフトウェアが正規版でないことに気付かず使用されていることがあります。意図的であるかどうかにかかわらず、ライセンスの使用許諾内容にない用法でマイクロソフト ソフトウェアをご使用いただくことは、コンプライアンスからの逸脱行為にあたります。

エンドユーザーにおいては、自身でライセンスを管理できないとの理由か、あるいはあえて購入しないとの考えから、利用する PC がライセンス コンプライアンスに準拠しているという前提でお客様のビジネス/サービスを利用します。このような状況下で、レンタル、リースまたは貸与用の PC に正しくライセンスを付与することは、お客様およびレンタル、リースまたは貸与用の PC の利用者であるエンドユーザーの両者をコンプライアンス逸脱の取り締まりから保護することになります。

ソフトウェアの不正使用から生まれる潜在的リスクをよりお知りになりたい方は、Genuine Microsoft Software のページ (<http://www.microsoft.com/genuine/>) をご覧ください。

Rental Rights ボリューム ライセンス ガイド

Rental Rights の購入方法

マイクロソフトの Windows オペレーティング システムや Microsoft Office は、お手軽かつお手頃に必要なライセンスを取得し、レンタル、リースまたは貸与 PC としてご利用いただくことができます。既に Windows オペレーティングシステムや Microsoft Office の使用許諾ライセンスをお持ちのお客様でしたら、使用する分の Windows オペレーティングシステムおよび Microsoft Office のライセンス合計数 (*使用 PC の台数ではありません) の Rental Rights をお求めいただくだけです。

リースまたはレンタル対象の Windows デスクトップ オペレーティング システム搭載の PC ごとに、以下の手順に従ってください。

1. PCにWindows 10 Home、Windows 8 /8.1、Windows 8/8.1/10 Pro、Windows 7 Professional、 Windows 7 Home Premium または、Windows Vista Businessがライセンスされていることを確認する
2. 一度きりのお支払いで取得できる Rental Rights for Windows ライセンスを購入して各 PC に割り当てます。



図 1: Windows がインストールされたレンタル対象 PC に必要なライセンス

リース、レンタルまたは貸与対象の Microsoft Office がインストールされた PC ごとに、以下の手順に従ってください。

1. PC に Windows 8/8.1/10 pro、Windows 7 Professional または Windows Vista Business、および Office Professional Plus 2010 / 2013 / 2016、Office Standard 2010 / 2013 / 2106、Office Personal 2013 / 2016、Office Home & Business 2013 / 2016 、Office Professional 2013 / 2016 のライセンスが正しく割り当てられていることを確認します。
2. 一度きりのお支払いで取得できる Rental Rights for Windows および Rental Rights for Office ライセンスを購入して各 PC に割り当てます。





図 2: Microsoft Office がインストールされたレンタル対象 PC に必要なライセンス

Rental Rights ボリューム ライセンス ガイド

Rental Rights が必要なビジネス/サービス

Windows オペレーティング システムや Microsoft Office が搭載された PC を第三者へレンタルまたはリースするためには、Rental Rights をお求めいただくことで使用が許諾されます。Rental Rights が必要となるビジネス/サービスと、Rental Rights が不要となるビジネス/サービスの例は下表を参照してください。

 Rental Rights が必要なビジネス/サービス	 Rental Rights が不要なビジネス/サービス
オフィス機器のレンタルまたはリース ビジネス サービス センター (コピー・製本/印刷店など) インターネット カフェ ホテルや空港内の設置 PC (かかる利用が無償の場合も含む) パソコン スクール 求職者支援法に基づく認定教育訓練機関 (<u>適格教育ユーザー</u> に該当する場合を除く)	Services Provider License Agreement (SPLA) を通したホスティングサービス 公共図書館 (別途適切なボリュームライセンス契約が必要です) 教育機関 (別途適切なボリュームライセンス契約が必要です) 社内 (組織内) の共有 PC 従来型ファイナンス (例: 購入選択権付きプログラム) 以下サイトの許諾条件に規定されている対象リース (レンタル含む) 【Windows】 https://mspartner.microsoft.com/ja/jp/Pages/Licensing/Windows-Lease.aspx 【Office】 https://mspartner.microsoft.com/ja/jp/Pages/Licensing/Office-Lease.aspx

制限事項

Rental Rights をご利用いただくにあたり、以下の制限事項にご注意ください。以下の制限事項の詳細については製品条項 (<http://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/product-licensing/products.aspx>) をご確認ください。

- ▶ **永続ライセンス:** Rental Rights はいったん割り当てたデバイスより他のデバイスに再割り当てすることができません。割り当てたデバイスが起動しなくなった時点 (恒久的故障の時点) で、ライセンスも終了します。また、Rental Rights ライセンスが有効であるためには、対象ソフトウェアである Windows OS や Office の製品ライセンス (使用許諾権) が同時に有効でなければなりません。
- ▶ **リモート アクセス:** Rental Rights では、リモートアクセスは許可されません。

Rental Rights ボリューム ライセンス ガイド

- ▶ **デバイス間の移行:** 別個の携帯用デバイスもしくはネットワーク デバイスで対象ソフトウェアの追加の複製を使用することは許可されません。この禁止規定は、対象ソフトウェアの使用条件でお客様に認められている権利よりも優先されます。
- ▶ **追加 (アドオン) ライセンス:** Rental Rights は製品のフル ライセンスではありませんので、対象ソフトウェアの製品ライセンスは別途購入が必要です。Rental Rights は対象ソフトウェアをレンタル、リースまたは貸与するためお客様の権利を変更する追加ライセンスです。Windows および Microsoft Officeのマイクロソフト製品ライセンスに関する詳細は、製品ライセンスの概要サイトにてご確認ください (<http://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/product-licensing/products.aspx>)
- ▶ **旧式バージョン:** Rental Rights を割り当てる対象ソフトウェアにダウングレード権が付与されている場合には、対象ソフトウェアのバージョンに代わって旧バージョンのソフトウェアの使用が可能となります。マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムをもっとお知りになりたい方は以下の Web サイトをご参照ください。
<http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/default.aspx>
- ▶ **仮想 PC:** Rental Rights では、仮想 (またはエミュレートされた) ハードウェア システムでのソフトウェアの使用は許可されません。プライマリ カスタマー (Rental Rights の購入者) が仮想 PC を作ること、レンタル、リースまたは貸与することはいずれも禁止されています。仮想化についてもっとお知りになりたい方は以下の Web サイトをご参照ください。 <http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/product-licensing/virtualization.aspx>
- ▶ **ソフトウェア アシュアランス:** Rental Rights ライセンスを購入したお客様は、その基となるソフトウェア ライセンスのソフトウェア アシュアランスを取得することはできません。ただしソフトウェア アシュアランスの例外として、Rental Rights が割り当てられた PC をレンタル・リース利用するエンドユーザーは、自身のボリューム ライセンス契約の規定に基づいて Upgrade and Software Assurance (U&SA) を購入することにより、ソフトウェア アシュアランスを取得することができます。たとえば、リース会社から長期リースされた PC を利用しているエンドユーザーは、自身のボリューム ライセンス契約を通じて、Windows や Microsoft Office の新バージョンのリリース時に対象ソフトウェアをアップグレードすることが可能です。エンドユーザーが契約しているボリューム ライセンス プログラムや製品ライセンスの種類に応じて、ソフトウェア アシュアランスはさまざまな付加価値や特典を提供します。ソフトウェア アシュアランスについてもっとお知りになりたい方は以下の Web サイトをご参照ください。 <http://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/software-assurance-default.aspx>

参照

- ▶ Rental Rights ライセンス: <http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/product-licensing/rental-rights.aspx>
- ▶ ボリューム ライセンス プログラム: <http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/default.aspx>
- ▶ 製品条項 (PT): <http://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/product-licensing/products.aspx>

Rental Rights ボリューム ライセンス ガイド

用語集

Microsoft Rental Rights において定義されている用語を次に示します。

コンプライアンス: マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に従うことにより、当該契約の条項で規定されているソフトウェアの使用が保証されることです。

お客様 (カスタマー): 購入した Rental Rights を自身が保有する PC に割り当てて、これを第三者に対してレンタル、リースまたは貸与するビジネスを運営する組織。

エンドユーザー (ユーザー): 個人または事業での使用目的で、レンタル、リースまたは貸与ビジネスの組織から PC をレンタル、リースまたは貸与して実際に利用する第三者。

リース: ライセンスされたマイクロソフト対象ソフトウェアを搭載した PC を有償で一定期間、または PC が稼働する限りにおいてユーザーに利用させること。

貸与: ライセンスされたマイクロソフト対象ソフトウェアを搭載した PC を無償で一定期間ユーザーに利用させること。

OEM (Original Equipment Manufacturer): マイクロソフト製品を搭載した PC を製造・出荷することをマイクロソフトから認可されている PC の製造メーカー企業。

プライマリ カスタマー: ここでは上記のお客様 (カスタマー) と同義です。

製品条項 (PT): マイクロソフト ボリューム ライセンスを通じて購入された製品についての製品、バージョン、使用方法に基づく使用权を説明したもの。

レンタル: Rental Rights における「レンタル」とは、ライセンスされたマイクロソフト対象ソフトウェアを搭載した PC を有償で一定期間 (多くの場合は分単位や時間単位) でユーザーに利用させること。

Rental Rights ライセンス: マイクロソフトが、プライマリ カスタマーに対して、ライセンスされた対象ソフトウェア (Windows および Office) を正規のライセンスに基づいて搭載している PC のレンタル、リースまたは貸与を許可するためのライセンス。

リセラー: プライマリ カスタマーによるライセンスの発注を請負う企業 (再販業者)。

Services Provider License Agreement (SPLA): ホスト型ソリューションの形態でマイクロソフト製品を提供するサービス プロバイダー向けのライセンス。

© 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.

本資料に記載された内容は情報提供のみを目的としており、明示または黙示に関わらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負いません。これは、ライセンスを取得した製品の許可された使用について説明したものであり、お客様との契約ではありません。ボリューム ライセンス契約に基づいてライセンス許諾された製品の使用は、契約の条項および条件に従う必要があります。この情報と契約の内容に矛盾がある場合は、契約の条項と条件が優先されます。マイクロソフト代理店を通じて取得されるライセンス価格はマイクロソフト代理店によって決められるものです。